

Title	人材採用活動におけるインタラクティブ・メディアの可能性
Sub Title	
Author	櫻村千江美(Kashimura, Chiemi) 國領二郎
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1995
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1995年度経営学 第1157号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001995-1157">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001995-1157</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

檜村 千江美

主査 國領 二郎

副査 古川 公成

高木 晴夫

所属

國領 二郎 研究室

## 人材採用活動におけるインタラクティブ・メディアの可能性

バブル崩壊後の長い不況下にある現在、日本の雇用環境は大変厳しい。そのような状況にも関わらず、近年インターネットという新しいインタラクティブメディアを利用した求人、採用活動が急増している。これは何故であろうか。この疑問を解決するために、本論文では、インターネット上での人材採用活動の効果、変化、そしてインターネット採用の課題を明らかにする。さらに、その結果から、インターネット採用における成功要件を導き出すことを目的とする。

調査にあたっては、インターネット採用を実施している企業のホームページ上での内容の確認、アンケート、インタビューを中心に進めた。

その結果インターネット採用は、コスト面、人材面、企業イメージ等の点に大きな効果があること、そして今後増加していくことが予測されること、課題としては、広告性、コンテンツ、双方向性の3点があることがわかった。

そして、企業がインターネット採用を成功させるための要件としては、上の3つを効果的に行うこと＝アクセス・バリュー・アップ・システムの構築が大事であることを見出した。